

事務事業名	防災対策避難路整備事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	土木課	H29係等名	道路係	H28担当課等名	土木課	
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			
	施策	41	災害対策の推進			
目的	対象(誰・何を)	指定の防災避難路。 避難路を使用して避難をする住民。			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	避難道を拡幅し、スムーズに避難場所へ移動できるようにする。			路線数:路線	8
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)			対象市民数:人	100957
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	進捗率:% (当年度までの実施済額/全体事業費×100)=1,317,395/1,748,969		67.2	68.1	75.4
	定性目標					
事業概要	有事の際に地域住民が安全に避難場所へ避難することが出来るよう、指定避難路を地区に応じた整備をする。					
	事業内容			名称		活動指標
28年度事業内容	1 測量設計・用地補償・物件補償・工事施工 (1)市道1-73号尾林雲母線(龍江宮沢) (2)市道千代15号線(法全寺) (3)市道1-39号母子ヶ谷線(鼎バイパス北) (4)市道2-51号北平念通寺線(竜丘旭街道) (5)市道松尾298号線(松尾寺所) (6)市道1-37号中村久米線(久米) (7)市道下久堅84号線(下久堅小林) (8)市道2-3号愛宕城下線(水の手町)			1 事業実施路線数		1 8路線
	事業コスト			27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額
事業費計(千円)①			109,184	142,114	113,196	26,699
国庫支出金						
県支出金						
起債			109,100	129,000	113,100	26,600
その他			74	13,100	14	
一般財源			10	14	82	99
人件費計(千円)②			0	0	0	0
正規職員所要時間						
臨時職員所要時間						
総事業費①+②			109,184	142,114	113,196	26,699
事業内容・目標達成状況の振り返り	各路線において早期に効果が発現できるよう工夫をした。当初計画路線数より1路線を増やし用地取得を先行した。					
改革改善の考え方	①問題点	避難場所への避難路線には、未整備路線がまだ多く存在する。				
	②改革提案	整備が必要な路線を厳選し、集中して工事をする事で早期に効果を上げる。				